

虹の会 だより

虹の会

第43号

2015. 12.20発行

【 第55回 虹の会の集いから 】

早いもので2015年も残りわずかとなりました。

虹の会の皆様とも2ヶ月に一度集まり今年も沢山のお話しが出来ました。

それぞれの状況から毎回集まれる方も、そうでない方もいらっしゃいますが、

「会うと元気がもらえる」という言葉が皆さんがいつも頑張っているからこそ出てくる言葉なのだろうと感じます。今年最後の虹の会では“大切なあなたへ”というタイトルでそれぞれの旦那様や奥様に手紙を書いて頂きました。

溢れてくる想いに皆涙を浮かべて書いていただきましたが、とても胸が熱くなる言葉でした。

来年も虹の会で皆さんと沢山のお話しをし、ホッとできる雰囲気集まりたいと思います。

お手紙を書いた後には忘年会という事で皆さんと共にお寿司やピザ、お惣菜を頂きました。

会長の徳永様より「来年もまた笑顔であいましょう」と乾杯の言葉を頂きました。



「大切なあなたへ」
それぞれの想いを手紙に
書いてもらいました。
どんな状況でも皆さんの
愛を感じる温かい内容でした



今年もお世話に
なりました。
今日は美味しく
たべてます♪

☆☆今年一年を振り返って☆☆

中島 七海

年々、1年が早く感じるのは私だけでしょうか？今年もあっという間の1年でした。

先日、テレビで若年認知症の方が数名出演し思いを語り、生活の様子が紹介されていました。

「人の役に立ちたい。」それは皆さんの思いでした。江島さんは絵本を通じて今でも、活動しています。

ご家族もまた、地域の中で出来る範囲で若年認知症の理解が広がるように頑張っています。

その成果は10年前からすると確実に広がっています。

国の施策はどうかというと、充分とは言えませんが介護職に対する指導書籍に若年認知症の項目が掲載されるようになりました。全国の仲間が力になって成果となって表れていると感じます。

12月の支援者の会で原口さん、田谷さんに終末期から見送るまで、そしてその後の自分の気持ちをお話して頂きました。周りからみると「良くしたよ」「これでよかったのか」と、自問自答している姿に胸が熱くなりました。きっとお空の向こうから「ありがとう」って感謝している、そう思います。これからは永久会員として、支え合った仲間の側にいてほしい、みんなが思うことです。来年の2月14日(日)熊本県荒尾市で全国若年認知症家族・支援者連絡協議会のフォーラムが開催されます。若年認知症の理解が九州の地で大きなうねりになることを信じ、来年が皆様にとりまして良い年になることを願っています。



今月より書いて頂いた「大切なあなたへ」というお手紙を毎回紹介したいと思います。
今月参加されなかった方にも便箋を同封させていただきますので、ぜひ書いて頂きたいと思います。
言葉ではなかなか素直に言えないことも手紙だと書ける。という声もありました。
ぜひ皆さんも一緒に読んでみて下さい。

「大切なあなたへ」

お父さん 元気ですか？

お父さんがいつも言っていた言葉をいつも思い出しています。

「お母さんは お父さんがいつも守るからね」

だから、いつもお父さんに逢いたくて私がお父さんに逢いに行っているのです。

だけど、食事の時も、その後も目をつぶって寝てばかりですね。

私は起こして食事をさせて、その後部屋と廊下を手を取って歩く練習を一緒にすると
ニコッと笑って「ねえ ねえ」と言っては私の手をさすったり肩をなでてくれますね。
私の事を分かってくれているのですね。

ありがとう。

嬉しくなって涙が出る時もあります。

お父さんも目をうるませていることを私は分かっていますよ。

お父さんこれからも一緒に頑張ろうね。



「大切なあなたへ」

病気になって10年経ちますね。

思った以上に病気が進行してしまいました。

会社も辞めていろいろ二人で散歩したり、病気が進まないように頑張ったけど…

パパは今施設に入っているけど私の事をわかっていますか？

息子たちは私が行くと笑顔が多いと言っているけど。

私の事はずーっと忘れないでね。

夫婦で仲良く行動している人を見ると羨ましいな。



お手紙は今後毎回掲載させて頂きたいと考えています。今回参加出来なかった方には便箋を
同封いたしますので、お手紙を書いて次回の虹の会にて持参をお願いいたします。

次回の虹の会は1月10日（日）です。

一年間今年もありがとうございました。来年も皆さんにお会いできることを
待っています。良いお年をお過ごしください。 虹の会スタッフ一同